

# 心つないで

No.65

発行

2014年10月13日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部（本部長・金丸正樹）

（ろっこう医療生協・本部内 Tel 078-802-3424）

## 今秋は、仮設で歌体操♪

## 被災地 大船渡へ

◎今年夏の、医系学生さんたちの東日本被災地・岩手県大船渡市派遣「サマーチャレンジ・in・岩手」に続いて、秋の行動は職員中心に現地派遣し、仮設住宅の皆さんとの「歌体操」の取り組みです。第1陣として、10月7日から9日まで、佐々木看護師（灘診療所）、田中さん（神戸大保健学科）、森本専務代行の3人【写真・左下】が空路大船渡入りし、活動しました。



・8日、午前中は「大船渡津波伝承館」を見学しました。午後、大船渡市三陸町越喜来（おきらい）の杉下仮設住宅で歌体操を行いました。「みかんの花咲く丘」や「大きな栗の木の下で」の歌を歌いながら体操。二つのことを同時にすることは脳トレになるそう。「楽しかったわ」「続けてやってみます」「遠いところから来てくれてありがとう」と、うれしいお声が。13人のご参加でしたが、支援員さんによれば「最近では数人の参加なのに、今日は10人越えてびっくり」とのことでした。

・10日は盛町の沢川仮設住宅を訪問。盛小学校校庭に建つ仮設です。



・男性1人、女性6人計7人のご参加でした。集会室は和室で、座ったまま足を伸ばして歌体操をしました。

・CDで曲を流して歌いながらの体操は、テンポが速く「むつかしい」とのご意見。そこでCDを使わず、みんなで歌いながら、手拍子での体操に切り替えたところ、「これならできるね」「覚えて毎日するわ」と、言っていただきました。【写真・下】



【写真・上は、杉下仮設住宅の支援員さんと・左から支援員さん、佐々木看護師、田中さん、支援員さん】

・東日本大震災から3年半以上たちました。「数ヶ月前まで、がれきの撤去作業をしていました。今でも、時々、津波のことを思い出すと胸がしめつけられる」とおっしゃる方がいらっしゃいました。

2015  
1.17

阪神淡路大震災  
20年の集い

●PM2時～●灘区民ホール

来年1月17日は、阪神淡路大震災から丸20年です。多くの組合員、市民が集う企画を準備中です。次回実行委員会は、11月11日（火）午後5時/なだ組合員集会室。どなたでもご参加ください。

●「神戸～東北つながり募金」にご協力ください！（目標100万円）